

令和 6 年度久留米市在宅医療介護連携推進協議会
令和 7 年 3 月 2 5 日（火）

A C P の普及啓発に係る取組みについて

久留米市健康福祉部保健所健康推進課

「人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発」に向けて

取り組み方針

目的

人生の最終段階において市民が希望する医療やケアを受けることができる。

視点

1. 本人の意思決定をどのような仕組みで支えていくのか
2. 本人の意思に沿わない救急搬送につながらないための環境をどのように構築していくのか



令和元年度に、在宅医療・介護連携推進協議会の下部組織として「人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発のあり方検討部会（ＡＣＰ部会）」を設置し、具体的な取り組みの検討を行う。

ACP部における令和5年度までの主な実績

内 容 \ 年 度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
私の生き方ノートの作成・配布					
市民公開講座、出前講座など					
広報久留米への特集記事掲載 ・ 人生会議ポスターの検討					
【医療介護従事者向け】 E-FIELD研修		中止			
【救急隊員向け】 ACP・救急医療との連携に係る研修					

令和6年度 久留米市ACP部会委員

部会長	牟田	文彦	(一般社団法人久留米医師会理事)
	内藤	雅康	(一般社団法人久留米医師会理事)
	西岡	進	(一般社団法人久留米医師会)
	長澤	一利	(一般社団法人久留米歯科医師会理事)
	吉永	美恵	(一般社団法人久留米三井薬剤師会副会長)
副会長	小原	尚美	(NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会訪問看護部会)
	西田	千代香	(NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会介護支援専門員部会)
	宮原	由美子	(NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会訪問介護部会)
	塚本	卓	(NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会ソーシャルワーカー部会)
	良永	忠則	(NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会施設部会)
	平湯	恒久	(久留米大学医学部救急医学講座講師)
	大谷	弘行	(社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院緩和ケア内科)
	棚町	政一	(久留米広域消防本部救急防災課課長補佐)

部会の開催状況

■開催日：令和6年6月11日（火）

令和6年11月1日（金）

■検討内容：

1. 市民へのACPの普及啓発
2. 支援者（医療介護従事者）の資質向上のための研修体制
3. 救急医療との連携

検討・取組結果：市民へのACPの普及・啓発

1. 久留米市オリジナルACP啓発ポスターのデザイン決定 市内医療機関・介護事業所 約1350か所へ配布（R6年8月）



母さん、
どうしたい？

今、話し合おう。

できなかったけど、
できることがある。

最期の瞬間まで日常は続く。だから、
人生会議

母が骨折した。肺炎も起こして、漸く間に寝たきり。
行きたいと言ったトンカツ屋、近くの洋品店。
いつか連れて行こうと思っていた。
たった一回、転んだだけでこんなに奪われるとは。

でも、まだできることがある。
どこで過ごしたい？ どんな治療がいい？
私たちに何してほしい？

だから今、人生会議。

「もしもの時」のために話し合う

アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）とは、
病状や療養の意向を明らかにし、最期の時まで、望む医療やケア、暮らしの質を高めるために、家族や
信頼できる人と一緒に話し合い、考えを整理し合います。



※市保健所に貼れる啓発ポスターの表紙です

久留米市保健所 健康推進課 | TEL:0942-30-9729 | FAX:0942-30-9833 | Mail:ho-kenko@city.kusumoto.jp



お母さん、
どうしたい？

今、話し合おう。

できなかったけど、
できることがある。

最期の瞬間まで日常は続く。だから、
人生会議

母が骨折した。肺炎も起こして、漸く間に寝たきり。
行きたいと言ったトンカツ屋、近くの洋品店。
いつか連れて行こうと思っていた。
たった一回、転んだだけでこんなに奪われるとは。

でも、まだできることがある。
どこで過ごしたい？ どんな治療がいい？
私たちに何してほしい？

だから今、人生会議。

「もしもの時」のために話し合う

アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）とは、
病状や療養の意向を明らかにし、最期の時まで、望む医療やケア、暮らしの質を高めるために、家族や
信頼できる人と一緒に話し合い、考えを整理し合います。



※市保健所に貼れる啓発ポスターの表紙です

久留米市保健所 健康推進課 | TEL:0942-30-9729 | FAX:0942-30-9833 | Mail:ho-kenko@city.kusumoto.jp

2.私の生き方ノートの改訂に係る協議

R2年3月初版作成（2部構成）。内容を見直し、改訂版を作成するため、R7年度ACP部会にて継続して協議予定。

私の生き方ノート

これからの医療・ケアに関する話し合い

アドバンス・ケア・プランニングの5つのステップ

（ステップ1～ステップ3「考えましょう編」）



久留米市

私の生き方ノート

これからの医療・ケアに関する話し合い

アドバンス・ケア・プランニングの5つのステップ

（ステップ4～ステップ5「話し合いましょう・伝えましょう編」）



久留米市

検討・取組結果：市民へのACPの普及・啓発

3. 看取りに関する市民啓発講演会の開催（在宅医療介護市民公開講座）

- 日時：令和6年11月9日（土）
- 演題：自宅で過ごす最期のむかえ方
- 講師：医療法人 日高整形外科病院

猪狩 洋介 氏

- 参加者：会場 93名

YouTube配信 83名



くも健康ポイント 獲得対象事業です（会場参加のみ）

在宅医療介護市民公開講座

自宅で過ごす、最期のむかえ方

「在宅医療」とは、おもに通院がむずかしくなった場合に、医師や看護師などに、自宅や施設に来てもらって、治療を受けることを言います。在宅医療では、このほかにもケアマネジャーなど、多くの専門職がチームとなって、ご本人やご家族を支えます。

今回の講座では、「最期まで住み慣れた場所で過ごしたいけどどうしたらいい？」「在宅医療ってどんなこと？どうやって始めればいいのか？」などの疑問に対して、症例を交えながらお話をします。自分らしく、望む場所で療養する方法を一緒に考えてみませんか。

講師：医療法人日高整形外科病院 副院長 猪狩 洋介 先生

講師プロフィール
久留米に生まれ長崎で育ち福岡大学を卒業。平成20年に腫瘍・血液・感染症内科へ入局し、すべてのがんにおける化学療法（抗がん剤治療）を習得しがん薬物療法専門医を取得。同時に福大病院内の終末期医療も担当する。
平成29年より日高整形外科病院で内科に従事。これまでの経験を活かし訪問診療を立ち上げ、血液内科を中心に外来・入院・訪問診療と昼夜問わず幅広く活動中。病院の新しい理念を、「ともに向き合い『生きる』を支える」と掲げ、患者や家族を支えられる病院へと改革を行っている。

日時 令和6年 11月9日（土） 14:00～16:00（受付13:30～）

場所 久留米医師会館 ホール（久留米市櫛原町45）

定員 200名 オンデマンド配信（YouTubeによる限定配信） 令和6年11月18日（月）～12月8日（日）

参加費 無料

4. 講演会以外での普及・啓発

※在宅医療・介護連携センター及び市職員にて講師対応

（1）市民向け出前講座、他機関主催の健康教室等での講話

実施回数：9回 参加者数：延201人

（2）久留米地域包括ケアシステム健康フェスティバルでの講話

日時：令和7年3月9日（日） 久留米医師会主催

検討・取組結果：支援者の資質向上のための研修体制

1. 「私の生き方ノート」の活用に係る在宅医療・介護従事者向け研修会の開催

- 日時：令和6年4月25日（木） 19時～20時45分
- 内容：①講義：本人が決めることが難しい場合の「本人」が決める支援
②ロールプレイ
- 講師：聖マリア病院緩和ケア内科 診療部長 大谷 弘行 氏
- 参加者：28名

2. 本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会（E-FIELD研修会）

- 日時：令和6年10月20日（日） 9時～17時30分
- 内容：①講義 ②グループワーク（国の研修に準ずる）
- 講師：聖マリア病院緩和ケア内科 診療部長 大谷 弘行 氏
- 参加者(修了証授与者)：31名

検討・取組結果：支援者の資質向上のための研修体制

【新規取組】

介護施設職員向け 看取り研修会

【目的】 介護施設職員がACPや看取りに係る理解を深め、介護施設における看取り力を向上することができる。

■日時：令和7年1月23日（木）19時～20時45分

■内容：①講義：施設におけるACP ②グループワーク

■講師：久留米医師会 在宅担当理事 牟田 文彦 氏

■参加者：15名

検討・取組結果：救急医療との連携

【新規取組】

救急医療に関する在宅医療・介護従事者研修会の開催

【目的】 医療・介護従事者が、高齢者の救急搬送の現状や課題を理解するとともに、急変時・看取りの対応力を向上させることができる。

- 日時：令和6年7月4日（木） 19時～20時
- 講演：心肺蘇生を望まない傷病者や救急搬送の実態等の状況等について
- 講師：久留米広域消防本部救急防災課
救急企画 課長補佐 棚町 政一 氏
- 参加者：110名



【協議事項】：次年度以降の方針（案）

- 私の生き方ノートやポスターを活用した市民啓発を継続するとともに、市民意識調査にて市民のACPの認知度を指標として、推移の分析・評価を行う
（令和3・5年度調査実施。次回、令和7～8年度予定）
- 介護施設における医療対応力、看取り力の向上を図るため、介護福祉サービス事業者協議会等と連携しながら、**介護施設職員向けの研修会**を継続して実施する。
- 看取り予定者の救急搬送防止のため、救急医療に関する在宅医療介護従事者向け研修会を継続して実施する。